



20km 折り返し付近のランナー (北田給水所付近)



五木さんとゲストのテツ and トモさん



沿道からの温かい応援 (北田)



潮風を感じながら走るランナー (竹波海水浴場)



全国各地から集まったランナーが  
美浜の海岸コースを快走



シャワーでリフレッシュ (竹波)



ゴールまでようやく半分



給水所で一息 (竹波給水所)



1.5km 小学生男子の部 FINISH



兄弟揃って入賞  
3km 中学生男子の部 優勝 大同健心さん (左)  
1.5km 小学生男子の部 2位 大同陸斗さん (中)  
3km 一般女子の部 優勝 大同美空さん (右)



母の日にちなんでカーネーションのプレゼント (表彰式)

記録 (敬称略)

部門	出走者数 (人)	優勝者	タイム (時・分・秒)
20km一般男子	866	安田 遊 (大阪府)	1:10:46
20km一般女子	90	田中さおり (滋賀県)	1:27:24
10km一般男子	855	辰巳 慶宏 (愛知県)	0:32:24
10km一般女子	125	辻家亜希子 (愛知県)	0:40:37
5km29歳以下男子	200	小牧波亜斗 (京都府)	0:16:48
5km30歳代男子	156	高杉 泰範 (岡山県)	0:16:43
5km40歳以上男子	479	内田 考史 (三重県)	0:18:31
5km29歳以下女子	41	大塚 明実 (富山県)	0:19:43
5km30歳以上女子	110	谷垣 繁美 (京都府)	0:19:50
3km50歳以上男子	175	武田 清美 (兵庫県)	0:10:31
3km一般女子	115	大同 美空 (美浜町)	0:10:22
3km中学生男子	127	大同 健心 (美浜町)	0:09:38
3km中学生女子	129	内田 真樹 (兵庫県)	0:10:43
1.5km小学生男子	36	佐藤 圭汰 (京都府)	0:05:11
1.5km小学生女子	26	正垣 水梨 (兵庫県)	0:05:43
1.5km親子	384	(192組)	

⑤ 月10日に、当町出身で名譽町民の五木ひろしさんを招いて、第27回美浜・五木ひろしマラソンが丹生特設会場から佐田までの海岸コース(日本陸連公認)で開催されました。

大会には、全国から全16部門に3,914人のランナーが参加し、晴天のもと潮風を肌で感じながら、風光明媚な海岸線コースで健脚を競いました。

五木ひろしさんは、開会式やスターターでランナーに声援を送られる等、大会を盛り上げました。



開会式で挨拶をされる五木さん



名曲を熱唱される五木さん



観客の皆さんと「なんでだろう〜♪」

## 五木ひろし ミニコンサート

競技終了後、丹生特設ステージでは、五木ひろしさんによるミニコンサートが開催されました。ミニコンサートのテツ and トモさんとの「暖簾」のデュエットで始まり、トークや観客を巻き込んだダンス等の後、五木さんは「渚の女」「夜明けのブルース」「桜貝」の3曲を熱唱され、会場に集まった多くの観客を魅了していました。

## RUNNER INTERVIEW



### 親子で出場された

左から川崎俊輔さん(1.5km 小学生男子の部)  
康浩さん・麻愛さん(1.5km 親子の部)  
(久々子)

親子で出場するのは8回目になります。上り坂がきつく、折り返しまで遠く感じましたが、美しい風景を眺めながら、親子で寄り添って走りました。ぜひ、また親子でチャレンジし、良い思い出を作りたいです。



### 「夫婦の部 5km」で優勝された

左・渡辺秀行さん(兵庫県)  
右・渡辺真由美さん(同上)

今回で3回目の出場です。優勝できるとは思っておらず、びっくりしています。アップダウンの激しいコースですが、沿道で応援してくれる人たちのおかげで頑張れました。来年もまた夫婦で参加したいと思います。



### 選手宣誓を務められた

左・上田拓実さん(日向)  
右・瀬戸このかさん(佐柿)

選手宣誓はとても楽しく、良い経験になりました。また、今回初めてマラソンに参加し、友達と一緒に楽しく走ることができました。機会があれば、体力を付けて違うコースにも挑戦してみたいですね。

## STAFF INTERVIEW

### ●北田給水所



左・桃井亜矢子さん(北田)  
右・田中恵美さん(同上)

給水所スタッフの皆さんのおかげでスムーズに仕事を終えることができました。ランナーの方から、「ありがとう」と声をかけていただき、私たちも一体となり大会に参加できました。

### ●荷物預かり所



大崎洋さん(菅浜)

選手の皆さんがけがをすることなく、また、安心して大会を楽しめるようにと願いながら仕事をしました。全国からお越しの皆さんには、美しい美浜を忘れず、また訪れてほしいと思います。

### ●弁天崎救護所



### 若狭医療福祉専門学校の皆さん

出口貴規さん(前列左) 西村公稀さん(前列右)  
尾花恭平さん(後列左) 山田優さん(後列中)  
吉田成生子さん(後列右)

この救護所では、大きなけが等もなく無事に大会を終えることができました。幅広い年齢のランナーがゴールに向かって走る姿を見て、私たちも自分の目標に向かって頑張りたいと思いました。



計測チップ回収



Tシャツ交換



自転車救急隊「REM」



給水所



消防団、防犯隊による会場警備

本大会は、町内の各種団体や区、事業所等のボランティアスタッフがより運営されています。今大会も約600人のスタッフがそれぞれの持ち場で役割を果たし、大会を支えてくれました。早朝よりご協力いただきました皆さん、本当にありがとうございました。

大会スタッフの皆さん  
協力ありがとうございました

シリーズ「三方五湖・自然再生の取り組み」①

# 三方五湖自然再生協議会の取り組み

## 美浜の環境 シリーズ 80 environment

ラムサール条約湿地に登録されている三方五湖は、国際的に重要な湿地として評価されています。しかし、近年、湖を取り巻く環境は大きく変わってきました。

今月号からは、シリーズ「三方五湖・自然再生の取り組み」と題して、三方五湖の保全・活用に向けた取り組みについてお知らせします。1回目は、自然再生に向けて取り組む「三方五湖自然再生協議会」について紹介します。

平成23年5月に、三方五湖流域とその周辺地域の自然再生を実現するため、行政、地元住民、研究者、

国際的にも評価されている三方五湖ですが、近年、この自然環境が急速に損なわれてきています。水質汚濁により生物のすみかとなる植生帯は激減し、外来生物の増加等の問題により、在来生物は減少しており、中には姿を消し始めたものもいます。

湖を取り巻く自然環境の劣化

三方五湖は、若狭湾国定公園や国の名勝に指定される等、福井県を代表する観光名所です。

貴重な自然財産「三方五湖」

三方五湖自然再生協議会の設立

町では、三方五湖の水質調査を実施し、調査結果を本協議会と共有するとともに、本協議会の活動から得られた情報を町の施策に反映していきます。今後も、本協議会と連携を図り、豊かな三方五湖の自然環境再生に取り組んでいきます。

■三方五湖自然再生協議会で活動する6つの部会

各種団体等で構成される「三方五湖自然再生協議会」が設立されました。協議会では、6つの部会に分かれ、自然再生に向けたさまざまな活動に取り組んでいます。

部会名	主な取り組み
(1)自然護岸再生部会	魚介類の生息に適した自然護岸の再生
(2)湖と田んぼのつながり再生部会	水田魚道の普及・活用
(3)外来生物等対策部会	オオクチバス、ブルーギル等外来生物駆除ヒシの除去対策
(4)環境に優しい農法部会	ふゆみずたんぼや有機農法等の拡大
(5)環境教育部会	環境教育プログラムの企画・実施
(6)シジミのなぎさ部会	シジミの生育環境の改善

### 三方五湖一斉清掃にご協力いただき、ありがとうございました

4月26日に三方五湖保全対策協議会の主催で実施した三方五湖一斉清掃には、約400人の方にご参加をいただきました。参加いただいた皆さんにお礼申し上げます。皆さんのご協力のおかげで、燃えるごみ390kg 燃えないごみ180kgを収集することができました。三方五湖保全対策協議会では、今後も、三方五湖の環境と景観の保全を目的とした清掃活動を行っていく予定です。今後とも皆さんのご協力をお願いします。



↑久々子湖畔でごみを収集する参加者

行政相談委員の10年間の活動を称え 総務大臣より田邊信義氏に感謝状が贈呈されました



田邊信義氏(山上)

4月21日に、美浜町行政相談委員として多年にわたり尽力された功績を称え、総務大臣より田邊信義さん(山上)に感謝状が贈られました。田邊さんは、平成17年4月から行政相談委員を5期10月から福井県行政相談委員協議会の理事を2期4年務めました。この間、住民と行政の間に立ち、行政サービスに関する苦情や行政手続きの相談等を受け付け、さまざまな問題解決に努められました。特に、住民が気軽に相談できる環境づくりのため、月1回の「定例相談所」をはあとびあに開設されたほか、同委員と協力して「みはまナビフェス」会場で行政相談制度の広報活動等に尽力されてきました。今回の表彰を受け、田邊さんは、「行政相談委員として、親身に話を聞くことを一番に考えて取り組んできました。これまで10年間続けられたのは、行政相談委員の先輩方や周りの皆さんのおかげです」と話されていました。

「げんげん運動」地域の特色を活かした健康づくり 「げんげん運動推進集落」に6集落が指定



↑推進集落に指定された6集落

4月17日に、「げんげん運動」の推進集落として、笹田、郷市、上野、興道寺、坂尻、竹波の6集落が指定されました。今回の指定は、町が平成25年度から取り組んでいる適正な塩分摂取(減塩)と適正なエネルギー摂取(減量)による健康づくり「げんげん運動」を町

■推進集落活動計画

集落名	主な活動内容
笹田	健康講座・家庭の味噌汁塩分測定(5月) 尿中塩分測定(9月)
郷市	減塩味噌汁体験(5月) 料理講習会(9月)
上野	健康ウォーク(5月・7月) 料理講習会(7月)
興道寺	塩分調査(5月・1月) 塩分に関する健康講座(9月)
坂尻	塩分調査(6月・10月)
竹波	塩分調査(6月) 健康講座・ウォーキング(9月) 健康講座・自分の体を知ろう(2月)

全体に広めるため、推進モデル地区(日向・河原市・丹生指定の第2弾として町が行ったものです。指定期間は、平成27年4月17日から平成28年3月31日です。推進集落では、食生活や運動、保健指導等の生活改善に関する講座や、味噌汁や尿中の塩分測定、集落での健診受診勧奨等の活動を主とし、各集落の特色や推進モデル地区の活動実践を踏まえた独自の取り組みにより生活習慣病の予防及び改善を目指します。町では、今後も推進集落と連携を図りながら、各種取り組みへの支援、また町全体への「げんげん運動」普及に努めていきます。